

2019年8月吉日

会員各位

## 第34回日本ゴマ科学会大会開催のご案内

拝啓 盛夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、仙台市において第34回日本ゴマ科学会大会を下記のように開催することとなりました。会員の皆様におかれましては、ゴマに関する最新の成果、研究動向を知る機会として、また、研究交流を深める機会として多くの会員の皆様にご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

敬具

### 1. 大会日程

2019年10月19日(土)

11:00~12:00	評議員会
12:10~12:50	総会
13:00~13:10	大会挨拶
13:10~15:40	特別講演
15:40~16:00	ポスターセッション・休憩
16:00~17:30	一般講演
18:00~20:00	懇親会

### 2. 大会会場

東北大学大学院農学研究科 青葉山コモンズ

評議員会 第一講義室

総会・講演会 大講義室

〒980-8572 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1

TEL:022-757-4083 FAX:022-757-4085

会場ホームページ <http://www.agri.tohoku.ac.jp/jp/access/index.html>

### 3. 懇親会会場

青葉山コモンズ内 みどり食堂

4. 参加費 会員 無料

5. 懇親会会費 5,000 円 (学生 1,000 円) (当日, 受付にて申し受けます)

6. 参加申し込み

- ①参加の方は同封のハガキに, 大会 (出席・欠席)・懇親会 (出席・欠席) を必ずご記入ください.
- ②評議員の方は評議委員会の出席・欠席を必ずご記入ください.
- ③申し込みは 2019 年 8 月 30 にち (金) までに大会実行委員会事務局にご返送ください. なお変更等は大会実行委員会事務局に直接ご連絡ください.

7. 会場までの交通

地図をご参照ください. 仙台市地下鉄東西線「青葉山」駅下車, 南 1 出口より南へ進み, 通りに出たら右折し、徒歩約 10 分.

8. 当日の昼食

会場周辺には飲食店が少ないため, 仙台駅周辺等とられることをお勧めします.

9. 大会実行委員会

東北大学大学院農学研究科作物学研究室

〒980-8572 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1

TEL 022-757-4083 FAX 022-757-4087

実行委員長 : 本間香貴 E-mail: koki.homma.d6@tohoku.ac.jp



大会および懇親会会場

# 第 34 回日本ゴマ科学会大会

## 講演会プログラム

13:00 開会の挨拶 大会実行委員長 本間香貴

13:05 会長の挨拶 日本ゴマ科学会 会長 吉田元信

### 特別講演

13:10 日本および海外で発生するゴマの病害について

宮川久義 ((元) 農研機構西日本農業研究センター企画部産学連携室)

14:00 韓国のゴマ栽培と育種研究の現況と課題

Sun-Hee Woo (韓国忠北大学校農業生命環境大学)

14:50 植物油の酸化に関する研究について (仮題)

仲川清隆 (東北大学大学院農学研究科)

15:40~16:00 **ポスターセッション** (演題 別紙)

### 一般講演

16:00 ゴマに含まれるカルシウムの形態別定量

○塩田萌慧<sup>1</sup>, 田代亨<sup>2</sup>, 勝崎裕隆<sup>3</sup>, 三島隆<sup>4</sup>, 八田珠郎<sup>5</sup> ( <sup>1</sup>三重大学・地域イノベーション, <sup>2</sup>千葉大学, <sup>3</sup>三重大学大学院・生物資源, <sup>4</sup>三重大学大学院・生物資源, <sup>5</sup>千葉科学大学)

16:15 ゴマグリニンとその生合成

大場 幸江<sup>1</sup>, 東 鋭明<sup>1</sup>, 小埜 栄一郎<sup>2</sup>, 豊永 宏美<sup>2</sup>, 白石 慧<sup>1</sup>, 原田 英里砂<sup>1</sup>, 村田 純<sup>1</sup>,  
○堀川 学<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>公益財団法人サントリー生命科学財団, <sup>2</sup>サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社)

16:30 セサモリンが昆虫細胞 S2 に与える影響について

○勝崎裕隆, 成川由希菜 (三重大学大学院生物資源学研究科)

16:45 ゴマオイルボディ形成機構についての考察

濱田聡<sup>1</sup>、岸川彰宏<sup>1</sup>、○吉田元信<sup>1, 2</sup> (<sup>1</sup>近畿大学大学院農学研究科、<sup>2</sup>大阪総合保育大学)

17:00 ゴマの生育, 収量および収量構成要素に及ぼす喜界島方式の機械収穫を想定した密植の影響

○道山 弘康・水野 一希・平野 達也 (名城大学)

17:15 「ゴマ機械化プロ」現地実証から見えてきた課題と展望

○田畑茂樹 (三重県農業研究所)

### ポスターセッション演題

各種ゴマ油の酸化安定性と調理への利用—未焙煎ゴマ油を中心に—

○武田珠美・松田万季 (熊本大学教育学部)

エリシター処理により誘導されたゴマ培養細胞中配糖体化酵素の解析

○藤佑志郎<sup>1</sup>, 大槻崇<sup>2</sup>, 明石智義<sup>3</sup>, 松藤寛<sup>2</sup> (<sup>1</sup>日大・生資科, <sup>2</sup>日大・生資科・食生, <sup>3</sup>日大・生資科・応生)

品種の異なるゴマの栽培中の葉中アクテオシド含量の変化

○余田圭人<sup>1</sup>, 宮沢知也<sup>2</sup>, 守屋佳奈<sup>2</sup>, 大槻崇<sup>1</sup>, 藤佑志郎<sup>3</sup>, 松藤寛<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>日大院・生資科, <sup>2</sup>日大・生資科・食生, <sup>3</sup>日大・生資科)

Molecular responses to waterlogging stress in sesame (*Sesamum indicum* L.) during early vegetative and pre-flowering stage using RNA-seq

○Sang-Heon Choi<sup>1</sup>, Ku-Hyun Kwon<sup>1</sup>, Ju-Young Choi<sup>1</sup>, Hyun-Jin Jung<sup>1,4</sup>, Swapan Kumar Roy<sup>1</sup>, Soo-Jeong Kwon<sup>1</sup>, Hyen-Chung Chun<sup>2</sup>, Seong-Woo Cho<sup>3</sup>, Yoon-Sup So<sup>1</sup>, Yong-Gu Cho<sup>1</sup>, Koki Homma<sup>4</sup> and Sun-Hee Woo<sup>1\*</sup> (<sup>1</sup>Chungbuk National University, Korea, <sup>2</sup>National Institute of Crop Science, Korea, <sup>3</sup>Gyeongnam National Univ. of Science and Technology, Korea, <sup>4</sup>Tohoku University, Japan)

Proteome analysis of sesame leaves in response to waterlogging stress at vegetative and flowering stages

○Hyun-Jin Jung<sup>1,5</sup>, Jang Hwan Yu<sup>1</sup>, Swapan Kumar Roy<sup>1</sup>, Soo-Jeong Kwon<sup>1</sup>, Seong-Woo Cho<sup>2</sup>, Cho Kun<sup>3\*</sup>, Hyeun-Chung Chun<sup>4</sup>, Jwa-Kyung Sung<sup>1</sup>, Hong-Sig Kim<sup>1</sup>, Koki Homma<sup>5</sup> and Sun-Hee Woo<sup>1\*</sup> (<sup>1</sup>Chungbuk National University, Korea, <sup>2</sup>Gyeongnam National University of Science and Technology, Korea, <sup>3</sup>Korea Basic Science Institute, Korea, <sup>4</sup>National Institute of Crop Science, Korea, <sup>5</sup>Tohoku University)